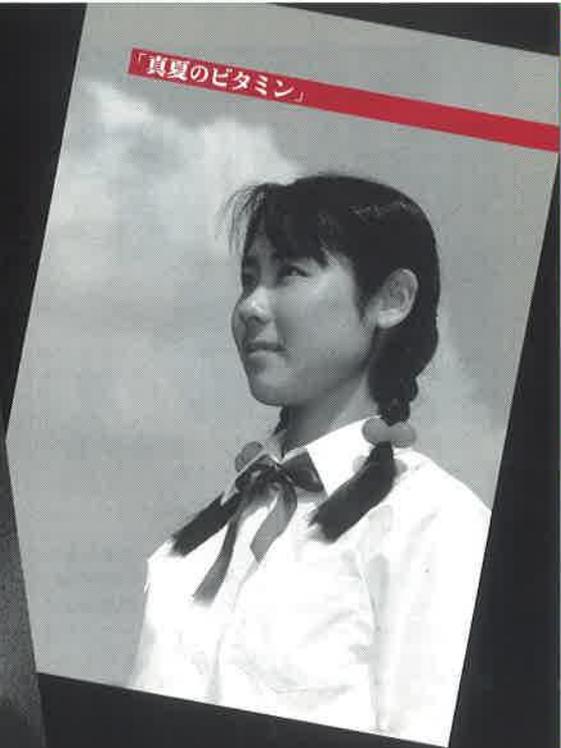




「トワイライツ」



「フィリピンふんどし 日本の夏」



「真夏のビタミン」



「蜃気楼劇場」

## AI・HALL CINEMA CATALOGUE VOL.3

# 映像と舞台芸術

### ■愛知芸術文化センターオリジナル映像作品

「フィリピンふんどし 日本の夏」…キドラット・タビミック監督

「トワイライツ」…天野天街監督

### ■高知県立美術館製作

「ちんなねえ BORN TO BE BABY」…林海象監督

### ■伊丹市・伊丹映画祭実行委員会製作

「真夏のビタミン」…三原光尋監督

### ■映像と舞台芸術

「蜃気楼劇場」…杉本信昭監督

「ROMANCE」…林海象監督

会場●AI・HALL (JR伊丹駅前)

〒664 伊丹市伊丹2-4-1 tel.0727-82-2000

日時●97年9月19日(金)～21日(日)

入場料●1プログラム 前売=Y1000 当日=Y1200

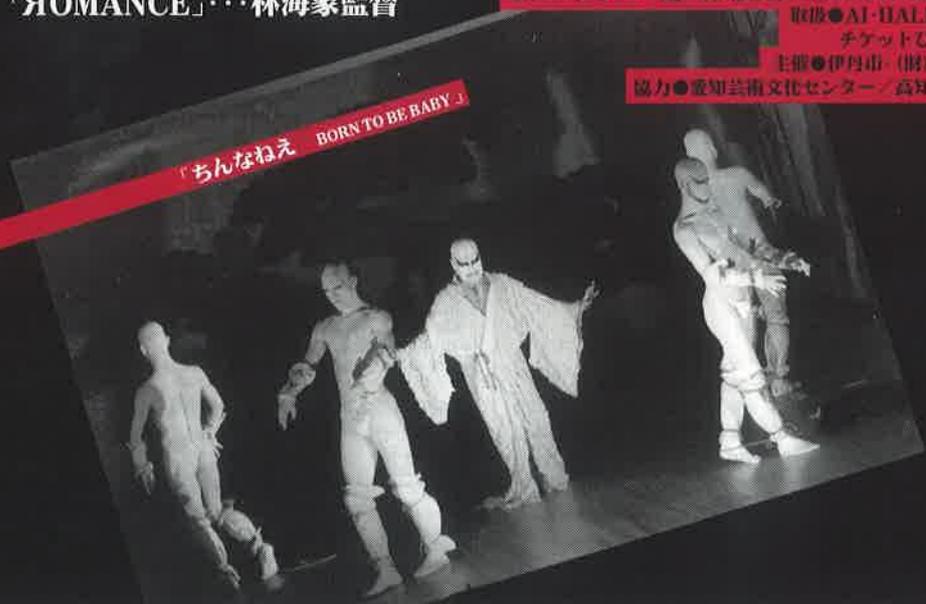
全プログラム 通し券(前売)=Y2500(AI・HALLのみ取扱)

取扱●AI・HALL 0727-82-2000

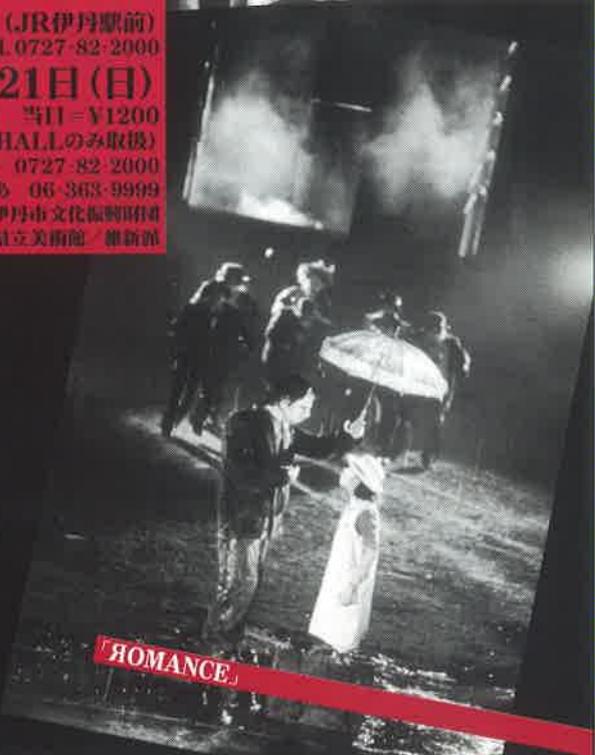
チケットぴあ 06-363-9999

主催●伊丹市・(財)伊丹市文化振興財団

協力●愛知芸術文化センター／高知県立美術館／維新館



「ちんなねえ BORN TO BE BABY」



「ROMANCE」

愛知芸術文化センターオリジナル映像作品



「フィリピンふんどし 日本の夏」

(16mm/33分/カラー/日本・フィリピン合作/1996年作品)  
監督・撮影・編集・出演＝キドラット・タヒミック  
企画＝愛知芸術文化センター 制作＝愛知県文化情報センター  
製作＝シネマトリックス

日記映画的な手法によるドキュメンタリーで知られるフィリピンの映像作家キドラット・タヒミックの作品。彼独自のアンチ・ハリウッド的な視点から、西洋と東洋の身体感の差異というテーマを、フィリピンの民族衣装であるパハグ(＝フィリピンのふんどし)をキーワードに、ユーモアを交えた思索的なアプローチによって描き出している。



「トワイライツ」

(16mm/33分/カラー/1994年作品)  
監督・編集＝天野天街 撮影＝山崎のりあき 美術＝田岡一遠  
出演＝有丸たいこ/川宵水/珠水/とろろ/田村映子/他  
企画＝愛知芸術文化センター/愛知県文化情報センター  
製作＝少年王者館/ポリウム・ワン

名古屋に拠点を置く劇団「少年王者館」の主宰・演出家・劇作家の天野天街の第1回監督作品。人間にとって避けては通れない、最後の、そして最大の事件ともいえるべき「死」をモチーフに、生の世界と死の世界を自在に行き来するような、疾走感あふれる映像が展開される。第41回オーバーハウゼン国際短編映画祭グランプリ、第44回メルボルン国際映画祭・短編部門でグランプリを受賞。

高知県立美術館製作



「ちんなねえ BORN TO BE BABY」

(16mm/43分/カラー/1997年作品)  
監督＝林海象 撮影＝長田勇市  
出演＝磨赤児/藤吉ガ/若林淳/窪窪五郎/村松卓也/原田芳雄(友情出演)/他  
企画＝藤田直義/松本敦仁/大原康洋/小沢康大(大略監修)  
製作＝高知県/高知県立美術館/財団高知県文化財団/映像探偵社

96年に高知県で上演された、磨赤児舞踏公演「トナリは何をする人ぞ」の映像ドキュメントを中心に、高知県立美術館製作映画第2弾。舞台の映像に、探偵や謎の美女、伝説の絵師などが出没するフィクション部分を絡め、劇映画ともドキュメンタリーとも規定できない不思議な世界が繰り広げられる。タイトルの「ちんなねえ」とは高知の方言で「奇妙だねえ」「おかしいことだねえ」というような意味。関西初上映。

商業映画とは一線を画す、自治体や公立施設によるユニークな映画作りが、現在、盛んに行われています。一般にはなかなか観ることのできないこれらの作品、しかも〈映像と舞台芸術〉という切り口でもって作品をコレクションし、紹介いたします。

AI・HALL CINEMA CATALOGUE VOL.3

映像と舞台芸術

会場●AI・HALL (JR伊丹駅前)  
〒664 伊丹市伊丹2-4-1 tel.0727-82-2000

日時●97年9月19日(金)～21日(日)

入場料●1プログラム 前売＝¥1000 当日＝¥1200  
全プログラム 通し券(前売)＝¥2500(AI・HALLのみ取扱)  
取扱●AI・HALL 0727-82-2000  
チケットぴあ 06-363-9999

主催●伊丹市・(財)伊丹市文化振興財団  
協力●愛知芸術文化センター／高知県立美術館／維新派

伊丹市・伊丹映画祭実行委員会製作



「真夏のビタミン」

(16mm/46分/カラー/1993年作品)  
監督・脚本・編集＝三原光尋 撮影＝坂本一文  
出演＝水谷純子/西野勝広/前川優香/保井健/他  
企画・製作＝伊丹市・伊丹映画祭実行委員会 制作＝Office WENDY

93年、伊丹映画祭の一般シナリオ公募で選ばれ、伊丹市が製作したオリジナル映画作品。監督の三原光尋は「風の王国」「燃えよピンポン」など、関西を拠点にして活動を続ける気鋭の若手監督。関西小劇場界の役者たちが濃厚なパワーを全開にして、女子水泳部を舞台に描いた100%のスホ根ドラマ＝「精神疲労時の栄養補給ムービー」。

Aプロ

「真夏のビタミン」(46分)  
「トワイライツ」(33分)

Bプロ

「フィリピンふんどし 日本の夏」(39分)  
「ちんなねえ BORN TO BE BABY」(43分)

Cプロ

「蜃気楼劇場」(111分)  
「ROMANCE」(13分)

9月	19 [fri]	20 [sat]	21 [sun]
12:10			C
14:40	A	B	B
16:20	B	A	A
18:00	C	C	

映像と舞台芸術



「蜃気楼劇場」

(16mm/111分/カラー/1992年作品)  
監督＝杉本信昭 プロデューサー＝坂口直 撮影＝清水良雄  
出演＝維新派 製作・配給＝スタンス・カンパニー

「劇場とは在るものではなく、成るものである」という言葉通り、自らの手であらゆるところに劇場を現出させてしまう、大阪が誇る舞台芸術集団「維新派」。彼らは91年秋に、東京での初の本格的な公演「少年街」を行った。この映画は東京汐留に約2000平方m、高さ25mの巨大野外劇場を建設して、大騒ぎをし、そして解体するまでの過程を記録したドキュメントである。



「ROMANCE」

(16mm/13分/モノクロ/1996年作品)  
監督＝林海象 撮影＝長田勇市 音楽＝内橋和久/木村充輝(愛歌団)  
出演＝赤松みさき/加茂大輔/他  
製作＝維新派 協力＝映像探偵社

96年10月、大阪南港ふれあい港館広場で公演された維新派の「チャンチャン☆オペラ ROMANCEー蒸気の街の映画少年たちー」の劇中、蒸気の街Cock-cityのウテナ映画学校に通う少年たちが卒業制作として完成させるサイレント映画。劇中タイトルは「ROMANCEー走れフランケンシュタインー」。監督は林海象が担当。